

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券 …… 移動平均法による原価法によっている。

満期保有目的以外の有価証券

時価のあるもの …… 期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている

時価のないもの …… 移動平均法による原価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

従来、賞与引当金で計上していた賞与支給額について、今期より雇用契約上の賞与額を未払費用として計上している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	4,893,900	0	4,893,900	0
小計	4,893,900	0	4,893,900	0
合計	4,893,900	0	4,893,900	0

4. その他

実施事業資産 (単位:円)

科目	帳簿価額
有価証券	3,947,616

5. 退職給付引当金について

従来、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を退職給付引当金に計上していたが、今期、退職により支給対象者が存在しなくなったため退職給付引当金を取崩し、当期末残存する退職給付引当金を退職給付引当金取崩額として経常外収益に計上している。

2024年3月31日現在